

団体名： 小原商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価											今後の展開・改善点等	備考		
				目標①			目標②			得られた効果	A B C D評価							
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値		総合評価	事業評価	自己評価	調査結果			満足度	補足
巡回・窓口相談指導事業	地域内事業者の大多数を占め、当地域商工業の基盤をなす小規模事業者の経営基盤の安定強化に努めるため巡回及び窓口において相談・指導を行う。	・巡回窓口指導指導実企業数53社 指導延件数399件 ・課題解決提案件数 12件	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 54.7 %)	指標	課題解決提案件数 (達成度 120.0 %)	小規模事業者の良き相談相手として企業の体質改善支援及び各種施策普及を図ることができた。	総合評価	A	事業評価	自己評価 B 目標達成度 B	調査結果 事業者への A 必要性 A	満足度 A	補足	目標 両方現状維持 実施方法 両方現行どおり	巡回指導について、計画的に実施する。	○
記帳継続指導	管内個人事業者の自主記帳の促進を図ることを目的として、日常の記帳から決算・税務申告に至るまで、記帳実務の習得を支援する。	記帳指導事業者数 48人 指導日数 219日 指導回数 691回	小規模事業者	指標	記帳指導事業者数 (達成度 109.1 %)	指標	指導延回数 (達成度 115.2 %)	適正な記帳により経営の状況が正しく把握でき、経理事務の軽減をすることができた。また、e-Taxの推進を図ることができた。	総合評価	A	事業評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 事業者への A 必要性 A	満足度 A	補足	目標 ①上げる②現状維持 実施方法 両方現行どおり	新規機械化委託事業者の開拓に努める。	○
講習会事業	多様化する経営環境に対応するため、小規模事業者にとって必要な金融・税務・経理・労働・情報化等の知識習得や時事的な問題についての啓蒙を図り、事業者の資質の向上と円滑な事業運営に資することを目的とする。	講習会開催回数及び受講者数 個別指導6回 参加者数 15人 集団指導6回 参加者数 48人 計12回 指導参加延人数 63人	小規模事業者	指標	開催回数 (達成度 100.0 %)	指標	受講者数 (達成度 77.8 %)	経営改善普及の効果的かつ円滑な実施を図り、事業者の知識習得に努めることができた。	総合評価	A	事業評価	自己評価 A 目標達成度 B	調査結果 事業者への A 必要性 A	満足度 A	補足	目標 両方下げる 実施方法 両方現行どおり	他事業へ移行する講習会の分、実施回数が減少し、それに伴い受講者が減少する。	○
創業支援事業	創業時における様々な相談に対して、中小企業基盤整備機構などの支援機関と連携して創業予定者に創業時に必要な知識習得の一助とする。	・創業相談延件数 3件	創業予定者	指標	相談件数 (達成度 300.0 %)	指標	(達成度 %)	創業相談の窓口を設けることで、創業予定者へ創業前にどこに相談に行ったらよいかというニーズに対して相談場所を提供することができた。	総合評価	A	事業評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 事業者への A 必要性 A	満足度 A	補足	目標 現状維持 実施方法 現行どおり	巡回指導等を通して、創業予定者の情報収集を行う。	○
小規模事業者支援特産品展事業	豊田市内の6商工会及び豊田商工会議所が一体となり、小規模事業者と商品の紹介・販売をする展示会を開催する。	セントレアイベントプラザにて、出展者数16事業者（6商工会及び豊田商工会議所内の小規模事業者を対象に募集） 期間 平成31年1月26日～27日 来客数 2500人	小規模事業者	指標	来客者数 (達成度 125.0 %)	指標	(達成度 %)	展示会開催により、多くの駅利用者により、多くの特産品のPRすることができた。出展者の満足度も非常に高く、商工会・商工会議所相互の連携を図れた。	総合評価	A	事業評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 事業者への B 必要性 A	満足度 A	補足	目標 上げる 実施方法 現行どおり	2019年はラグビーWCが豊田市で開催されるため、開催回数を増やす。	○
地域振興祭事業	地域観光資源である四季桜をいかに四季桜まつりを通して、広く周知することによって観光振興を図り、ひいては商業活性化、創業を図ることも目的とする。	観光協会との協働で四季桜まつり（1ヶ月）の実施 期間 平成30年11月1日～30日 来客数 160,000人	小規模事業者	指標	来客者数 (達成度 123.1 %)	指標	(達成度 %)	新たな試みとして神社と協力して御朱印帳を書くイベントを行い、地域資源のPRをすることができ地域経済の促進に寄与できた。	総合評価	A	事業評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 事業者への A 必要性 A	満足度 A	補足	目標 上げる 実施方法 現行どおり	来場者を増加させるため、新たなイベント等を行っていく。	○
部会・委員会事業	商業・工業の部会活動を行い、部会参加企業の発展に資する事業を実施する。	商業まつり 期間 平成31年2月15日～24日 参加事業所数40件 先進地視察研修 日時 平成30年9月10日 参加者数 34人 計 74人	小規模事業者	指標	参加企業数 (達成度 123.3 %)	指標	(達成度 %)	商業・工業の業種別対策の強化と参加企業の経営向上を図ることができ、改善発達を行うことができた。	総合評価	A	事業評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 事業者への A 必要性 A	満足度 A	補足	目標 上げる 実施方法 現行どおり	参加事業所が増加するように事業を行う。	○
福利厚生事業	中小企業、小規模企業の経営・雇用の持続的な安定を図るために、各種共済制度の普及や従業員の健康診断の実施等、企業の健全な育成に資することを目的とする。	各種共済の加入推進と事業所健康診断の実施 小規模企業共済加入者数75件 中退金加入者数 17件 中小企業共済事業所数 104件 倒産防止共済その他69件 計265件	小規模事業者	指標	各種共済の加入件数 (達成度 131.2 %)	指標	(達成度 %)	共済に加入している従業員とその家族に対して、福利厚生の充実と将来への生活設計の支援を図ることができた。	総合評価	A	事業評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 事業者への A 必要性 A	満足度 A	補足	目標 上げる 実施方法 現行どおり	来年度も加入数増加に努める。	○

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

平成30年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 小原商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価											今後の展開・改善点等	備考				
				目標①			目標②			得られた効果	A B C D評価						今後の展開・改善点等			
				指標	委託事業所数 (達成度 97.0 %)		指標	更新回数 (達成度 %)		総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果			満足度	補足	目標	
労働保険事業	事業主等の委託を受けて、事業主に代わって労働保険料の申告納付その他労働保険に関する各種の届出等の事務手続きを行うことにより、中小事業主の事務処理の負担を軽減し、労働保険の適用促進及び労働保険料の適正な徴収を図る。	労働保険事務組合の事務処理規約にのっとり、所定の事務処理を実施する。委託32事業所。 巡回相談指導件数 80件 窓口相談指導件数 94件	小規模事業者	33	実績数値	32	目標数値	実績数値	実績数値						雇用と定着を推進するために健全なる労働法規の順守を促し、煩わしい労働保険料の算定や給付事務の代行により経営に専念できるよう貢献できた。	総合評価				A
情報化推進事業	インターネット等による情報化通信技術を活用して会員事業者のPRを図り、販売促進、売上拡大を進め商工業の活性化を実施する。	ホームページの作成代行及び更新 代行事業者 2事業所 更新回数 5回	小規模事業者	5	実績数値	2	目標数値	5	実績数値	5	事業所のホームページの更新によって事業の情報発信とPRを図ることができ、販売促進等の支援を行うことができた。	総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	ホームページの作成を各事業者で行うところも多くなったので、目標を下げる。
税務関係団体指導事業	青色申告会の会議・活動に積極的に参加し、地域への普及に努めるとともに青色申告会等への加入と納税意識の高揚を図るための事業を実施する。	・青色申告の普及勸奨 ・青色申告会会員への税務育成指導 ・税務研修会等への参加（3回） ・青色申告会会員30事業所	小規模事業者	31	実績数値	30	目標数値	5	実績数値	3	活動を通じて地域貢献を図り、公共団体、事業者間とのかわりを持ち相互発展に寄与した。また、青色申告の意識を高め適正な記帳・申告に寄与した。	総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	研修会等への参加者が増えるように会員に声掛けをする。
調査広報事業	商工会の事業及び活動状況、小規模事業者への施策、制度等を周知するための情報提供や各種調査事業を実施する。	・商工会だよりの発行（年2回） ・HPによる情報の発信 ・経済動向ヒアリング調査1回 ・経済動向アンケート調査0回 ・消費者ヒアリング調査 1回	小規模事業者	2	実績数値	2	目標数値	5	実績数値	2	商工会の事業及び活動状況や事業者向けの施策、制度等の実施、県内等の経済動向について、有効利用できる情報の提供を図ることができた。	総合評価	B	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	アンケート調査の実施時期を検討する。
商店街振興事業	消費者のニーズの変化や近隣の大型店進出など激変する商業環境の中で、地区内の零細事業者の資質向上や育成を図るとともに、街路灯の維持管理や商品券事業を実施し環境整備を推進する。	・事業推進委員会の継続 ・アドバイザーの助言を仰ぎ、会議開催0回 ・街路灯の維持・管理	小規模事業者	7	実績数値	8	目標数値	実績数値	実績数値	地区内の商業活性化を図るため委員会を開催し、事業者の資質向上や支援を行うとともに街路灯の維持管理により環境整備を図った。	総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	商店街振興事業で企画する講習会の参加者数を目標に追加する。	
青年部・女性部事業	地域に在住する青年あるいは女性として、地域振興に取り組み事業等を行い地域づくりの原動力とする事業を行う。	・まちづくり事業（1回） 青年部女性部員 8人 ・地域振興事業（1回） 青年部女性部員 15人 ・夏まつり事業（1回） 青年部女性部員 15人 計 3回 青年部女性部員 38人	小規模事業者	28	実績数値	38	目標数値	実績数値	実績数値	部会活動を通じて地域振興街づくりの原動力となり地域貢献と活性化を図ることができた。	総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	部員数が減少傾向にあるので、加入促進を行っている。	
若手後継者等育成事業	商工会の事業を積極的に推進するとともに、青年・女性の経営者としての資質を向上させ、また両部組織の強化に努め、新しい地域づくりの原動力となり、地域の福祉の増進に資する。	・資質向上のための講習会の開催 1回集団 ・視察研修 2回 ・地域振興事業 3回 ・青年部全国大会 参加3名 ・講習会始め各種事業参加者延べ人数 113人	小規模事業者	100	実績数値	113	目標数値	実績数値	実績数値	青年・女性経営者等として資質向上に努めた。	総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	講習会への参加者の増加に努める。	

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。